

R7仙病サ764号  
令和7年9月30日

都道府県知事 殿

住 所 仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号  
申請者  
氏 名 仙台市病院事業管理者 奥田 光崇

仙台市立病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して別添のとおり報告します。

項目1： 基本情報

① 医療機関コード（医科 / 歯科）

医科	5413269
歯科*	5431697

\*歯科の医療機関コードが割り振られている場合のみ

② 開設者\*

住所**	仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号
氏名	仙台市病院事業管理者 奥田 光崇

\*開設者とは、医療機関の開設・設営の責任主体であり、原則として営利を目的としない法人又は医師である個人であるものをいいます。

\*\*開設者が法人である場合は「住所」には法人事務所の所在地、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

③ 病院情報

病院名	仙台市立病院
管理者 役職・氏名	仙台市病院事業管理者 奥田 光崇
郵便番号 (半角ハイフンなし)	9820007
所在地 1 (自動入力)	宮城県仙台市太白区あすと長町
所在地 2	1丁目1番1号
電話番号	022-308-7111

一般病床数	467
療養病床数	0
感染症病床数	8
精神病床数	50
結核病床数	0
合計病床数	525

④ 地域医療支援病院の承認年月日

年月日	平成26年11月1日
-----	------------

項目2：紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

① 紹介率・逆紹介率

紹介率	
紹介患者数 ・・・ (1) *	15311
初診患者数 ・・・ (2) **	18399
紹介率 ・・・ (1) ÷ (2)	83.22%
逆紹介率	
逆紹介患者数 ・・・ (3) ***	17579
逆紹介率 ・・・ (3) ÷ (2)	95.54%

\* (1) 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数  
 (初診の患者に限る)。以下を含む：電話情報により自院の医師が紹介状に転記した患者、紹介状または検査票のある、精密検診のための受診

\*\* (2) 医学的に初診といわれる診療行為があった患者数（以下を除く：救急患者数、休日又は夜間に受診した患者、自院の健康診断で疾患が発見された患者）

\*\*\* (3) 診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者(開設者と直接関係のある他の機関に紹介した患者を除く)。

項目3：共同利用の実績

① 利用医師等登録制度の実施にあたる担当者の役職

役職	総合サポートセンター長
----	-------------

② 登録医療機関数

登録医療機関数	943
上記のうち、開設者と直接関係のない*医療機関の数	940

\*「開設者と直接関係がない」とは、開設者や代表者が同一である場合、または親族である場合、理事など役員の3/10が親族が占めている場合、またはそれに準じて重要な影響を与えている医療機関ではないものをいいます。

③ 共同利用状況

共同利用にかかる病床	
共同利用にかかる病床数	6
共同利用にかかる病床の病床利用率*	0

\*共同病床利用率（小数点第1位まで）

$$\frac{\text{共同利用病床を共同利用にて使用した患者の年間患者延数}}{\text{(月間日数} \times \text{月末病床数}) \text{ の } 1 \text{ } \sim \text{ } 12 \text{ 月の合計}} \times 100$$

共同利用を実施している医療機器*	
<input checked="" type="checkbox"/>	CT
<input checked="" type="checkbox"/>	MRI
<input type="checkbox"/>	PET
<input type="checkbox"/>	放射線治療機器（リニアック・ガンマナイフ）
<input type="checkbox"/>	マンモグラフィ
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
▼「その他」を選択した場合は入力してください。	
核医学診断装置	

\*出典：外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次（前期）～

▼共同利用している施設（建物）等

建物 図書室及び会議室

機械 磁気共鳴画像診断装置、コンピューター断層撮影装置、核医学診断装置

病床 6床

共同利用を行った医療機関の延べ数

841

#### 項目4：救急医療の提供の実績

##### ① 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	7997
上記以外の救急患者の数	6987

\*:地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬送された患者の数(救急患者の数)

##### ② 重症救急患者のための病床の確保状況

優先使用の病床数	24
専用病床数	16

##### ③ 重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設の概要

当院は救命救急センターを有し、ICU16床・HCU24床を備える。CT・MRI・血管造影装置等を整備し、重症救急患者の検査・治療に24時間対応している。

\*24時間体制になっているかも含めてご回答ください。

④ 通常の当直体制以外に重症救急患者の受入れに対応できる体制の確保状況

体制の確保	あり	
▼ 「あり」を選択した場合は入力してください。		
	常勤	非常勤
医師数	189	4
うち専従数		
看護師数（准看護師含む）	567	51
うち専従数		
薬剤師数	29	3
うち専従数		
診療放射線技師数	24	3
うち専従数		
臨床検査技師数	35	11
うち専従数		
臨床工学技士数	13	0
うち専従数		
上記以外の従事者数	104	173

項目5：地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

① 教育責任者の役職名

役職	医療管理監（兼）診療部長
----	--------------

② 研修委員会

研修委員会の設置	あり
「あり」の場合 その名称を入力	研修管理委員会

③ 研修について

研修プログラムの有無	あり
研修会開催回数*	36
研修会のうち医師以外の医療従事者 を対象にしたもの回数	5
研修会参加延べ人数	1044
症例検討会の開催回数	12
医学・医療に関する講習会の開催回数	24
<b>▼主な研修概要</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急センター症例検討会 12回</li> <li>・PTLS（外傷初期診療）勉強会 11回</li> <li>・地域連携のつどい 1回</li> <li>・オープンカンファレンス 2回</li> <li>・仙台南地域医療連携を考える会 2回</li> <li>・C P T講演会 1回</li> <li>・B E A M S研修会 1回</li> <li>・仙南ハートネットワーク勉強会 2回</li> <li>・地域保険薬局合同研修会 1回</li> <li>・仙台市立病院認定看護師による公開講座 1回</li> <li>・心血管疾患領域懇話会 1回</li> <li>・母育児支援員会主催オープンカンファレンス 1回</li> </ul>	
<b>▼主な研修施設概要</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室 65.0m<sup>2</sup> 収容定員 40人（主な設備：音響システム、スクリーン、プロジェクター等）</li> <li>・講堂 322.0m<sup>2</sup> 収容定員 300人（主な設備：音響システム、スクリーン、プロジェクター等）</li> </ul>	

\* : 研修会開催回数は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものに限る

項目6： 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

① 管理責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	院長
担当者の役職	看護部長、経営医事課長、総合サポートセンター副センター長

② 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

▼診療に関する諸記録の管理方法
診療記録については電子カルテ及びPACSにより一元的に管理している。
▼病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法
病院運営に関する会議録や医療安全記録等は院内規程に基づき電子媒体で保存し、保存期間を定めて体系的に管理している。

項目7： 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

① 閲覧責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	院長
担当者の役職	看護部長、経営医事課長、総合サポートセンター副センター長

② 主な閲覧方法

閲覧方法	診療記録は患者等の申請後、コピー交付や閲覧を行っている。外部医療機関からの依頼についても所定の手続きにより対応。
------	--

③ 閲覧件数・概要

件数	0
▼閲覧者別件数	
医師	0
歯科医師	0
地方公共団体	0
その他	0

項目8：医療法施行規則第9条の19第1項第1号に規定する委員会の開催の実績

① 委員会について

委員長の所属・役職	仙台市医師会会長
委員数	10
院外の委員数	7
総開催回数	2回
▼概要	
1. 令和6年9月4日（水） （1）令和5年度地域医療支援病院業務報告について（2）紹介予約コールセンターを利用した新患患者の診療情報提供書FAX送信（試験運用）について（中間報告）（3）身体合併症精神医療の推進に向けたコンサルテーション・リエゾンセンター（CLC）の取り組み 2. 令和7年2月7日（金） （1）診療情報提供書の事前取り寄せについて（2）FAX送信時の外来診療予約申込書について	

項目9：患者相談の実績

- ① 主として患者相談を行った者の役職（複数回答可）

役職	医療ソーシャルワーカー、看護師、保健師、窓口相談員
----	---------------------------

- ② 患者相談について

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（各病棟、患者宅等）
総相談件数	26044

項目10： 病院機能に対する第三者評価の実績

病院機能について 第三者による評価を受けているか	はい
▼ 「はい」の場合、どのような評価を受けているか	
当院は病院機能評価において「一般病院2」として認定され、患者中心の医療、安全管理、地域連携の体制などが高く評価された。改善要望事項はなく、一部項目ではS評価を得るなど、質改善への継続的な取組が第三者からも高く評価されている。	

項目11： 退院調整部門

退院調整部門の設置の有無	はい
--------------	----

項目12： 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	はい
▼ 「はい」の場合、情報発信・内容等の概要	
広報誌・ホームページ、地域医療機関向け研修会等を通じ、地域医療支援病院としての役割を情報発信している。	

項目13： 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定の有無	はい
▼ 「はい」の場合、その内容や運用方法の概要	
頸部骨折パス・脳卒中パス等を活用し、急性期から在宅まで切れ目ない診療を地域医療機関と連携して推進している。	

項目14： その他の特記事項

当院は救命救急センターを有する災害拠点病院として、三次救急患者の受入れや災害時対応を担っている。特に24時間体制で救急患者を受け入れており、地域の救急医療を支える中核的役割を果たしている。また、頸部骨折パス・脳卒中パスを活用し、急性期から回復期まで切れ目のない診療を地域医療機関と連携して推進している。